

鹿児島県地域医療再生計画〈災害医療(緊急被ばく医療を含む)体制の再生〉

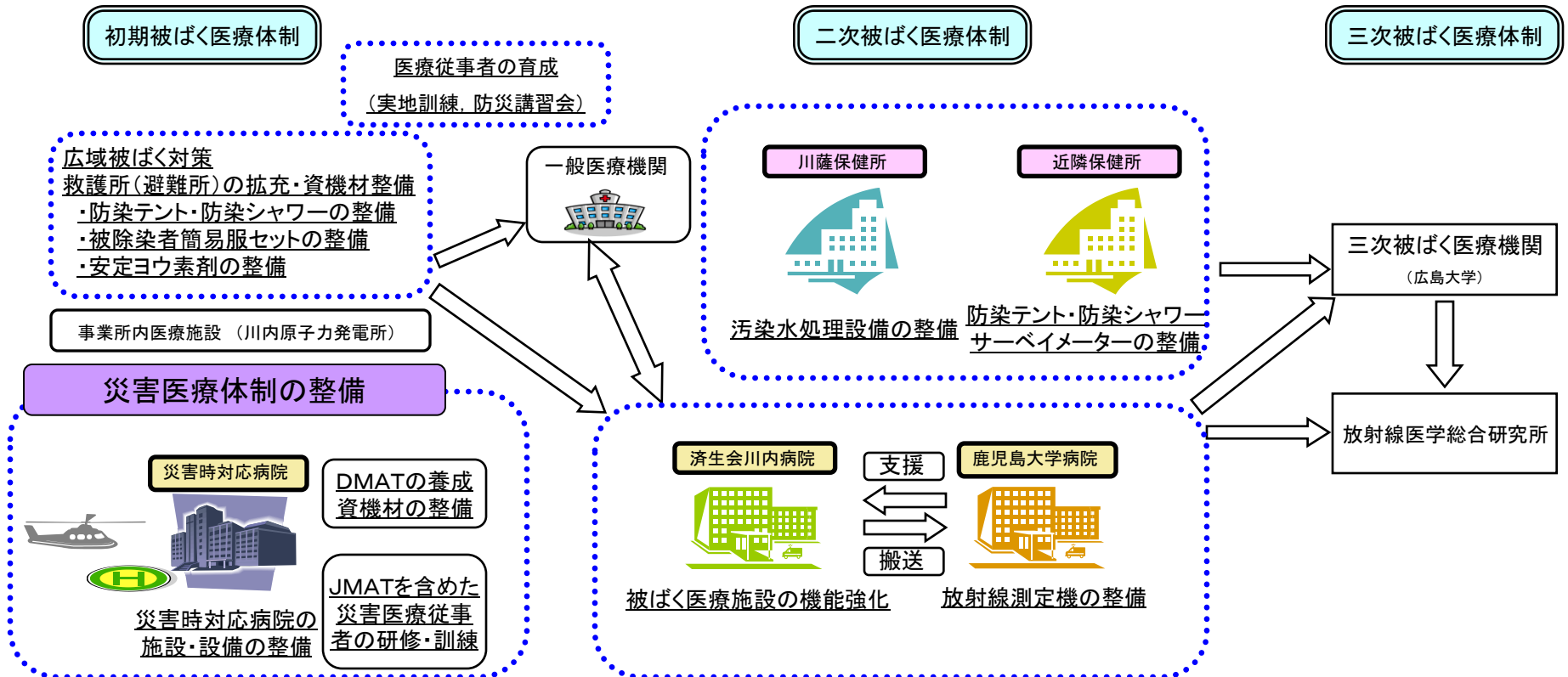
現状

- 二次被ばく医療機関(済生会川内病院)の設備・施設の老朽化
- 後方支援病院である鹿児島大学病院に線量測定機器等が未整備
- ヘリポートが敷地や隣接地にない災害拠点病院の存在
- 災害拠点病院等の施設・設備が老朽化
- DMATのチーム数が不足

課題

- 被ばく医療提供体制の充実・強化
- 避難所等における除染のための資機材の確保
- 医療従事者の育成
- DMATの養成(7→14チーム)及び技能向上のための研修派遣
- 災害時対応病院の施設・設備の整備

緊急被ばく医療体制の整備



鹿児島県地域医療再生計画〈急性期医療，感染症対策，精神科救急及び周産期医療体制の充実・強化〉

現状

- 特定の地域(鹿児島市)の医療機関に救急搬送が集中
- 多くの離島・へき地では，医療提供体制の整備の遅れ
- 第一種感染症指定病床が未整備
- 離島の医療機関に感染症病床が未整備
- 精神救急患者の休日等の受け入れ先病院の確保が困難

課題

- 地域救急病院における医療機器の整備
- 離島・へき地の医療機関における医療機器の整備
- 保健所の結核診査等画像診断機器の整備
- 感染症病床のない離島医療機関における結核病床の整備
- 地域周産期母子医療センターにおける医療機器の整備

